

第2章

県構想の基本理念

本県の污水处理施設は、県構想のもと計画的に整備が進められて普及してきており、公衆衛生の向上、生活環境の改善、河川等の公共用水域の水質改善に大きく寄与してきました。

これからの污水处理施設のあり方については、これらの効果・役割を基本としつつ、下水道などが有する多様な機能をとおして、脱炭素・循環型社会への転換を図ること、美しく良好な環境を維持すること、安心・安全で快適な暮らしと活力のある社会の実現に寄与することなどが期待されています。

この章では、新たな県構想の基本理念及び全体構成について説明しています。

2.1 基本理念

本構想は次の6項目を基本理念として策定しました。

水環境の保全、未来に引き継がれる豊かな自然

快適で豊かに暮らせる生活環境の早期実現

脱炭素・循環型社会形成の推進

持続可能な污水处理の運営

浸水不安のない街

污水处理に関する普及啓発

(1) 水環境の保全、未来に引き継がれる豊かな自然

岩手県は豊かな自然に恵まれ、清らかな水と美しい水辺環境を有しています。污水处理施設には、家庭や事業活動により排出される汚水を遅滞なく排除・処理することにより、生活環境や水環境を保全する役割があります。污水处理施設を整備・維持することで、この豊かな環境を守り継いでいきます。

(2) 快適で豊かに暮らせる生活環境の早期実現

污水处理施設は、トイレの水洗化により居住空間を快適にし、生活雑排水等の処理により生活環境を改善します。その恩恵はすべての県民が享受すべきものであることから、污水处理施設整備の早期完了を目指します。

(3) 脱炭素・循環型社会形成の推進

下水道は、汚泥や下水熱など豊富なバイオマスや熱エネルギーを有しています。汚泥や熱エネルギーを再生可能エネルギーとして利活用するほか、汚泥を肥料として利用することで脱炭素・循環型社会の形成に貢献します。

(4) 持続可能な污水处理の運営

污水处理施設が将来にわたり持続可能なものとするために、污水处理施設管理者は「経営の視点」を持って、効率的な事業運営を目指します。

また、污水处理施設は、施設の建設だけをもって役割を果たせるものではなく、施設が継続的に機能するよう運営することで日常生活や社会活動を支えることができる社会基盤施設です。そのため、予防保全に基づく施設の効率的かつ適正な維持管理を実施します。

さらに、污水处理施設は重要なライフラインであり、機能しなくなった場合の影響は甚大です。安心・安全な暮らしを確保するため、污水处理施設の災害対策を推進します。

(5) 浸水不安のない街

下水道の役割には、浸水被害を軽減することも挙げられます。近年、気候変動に伴う局所的な集中豪雨が増え、浸水被害が頻発しています。これらの大雨による浸水被害をできるだけ低減することで、浸水不安のない街を目指します。

(6) 污水处理に関する普及啓発

下水道の接続率向上や浄化槽の普及促進を図るために、県民の方々に対する下水道・浄化槽への理解をさらに深めることが必要です。

2.2 全体構成

基本理念を踏まえて、ビジョン 2025 の全体構成を以下のとおりとしました。

各項目の検討手順については、まず、これまでの取組状況や社会情勢の変化を整理し、そこから浮かび上がる今後の課題を抽出しました。

そして、その課題を解決すべく、新たな方針及び新たな計画・目標を設定することとしました。

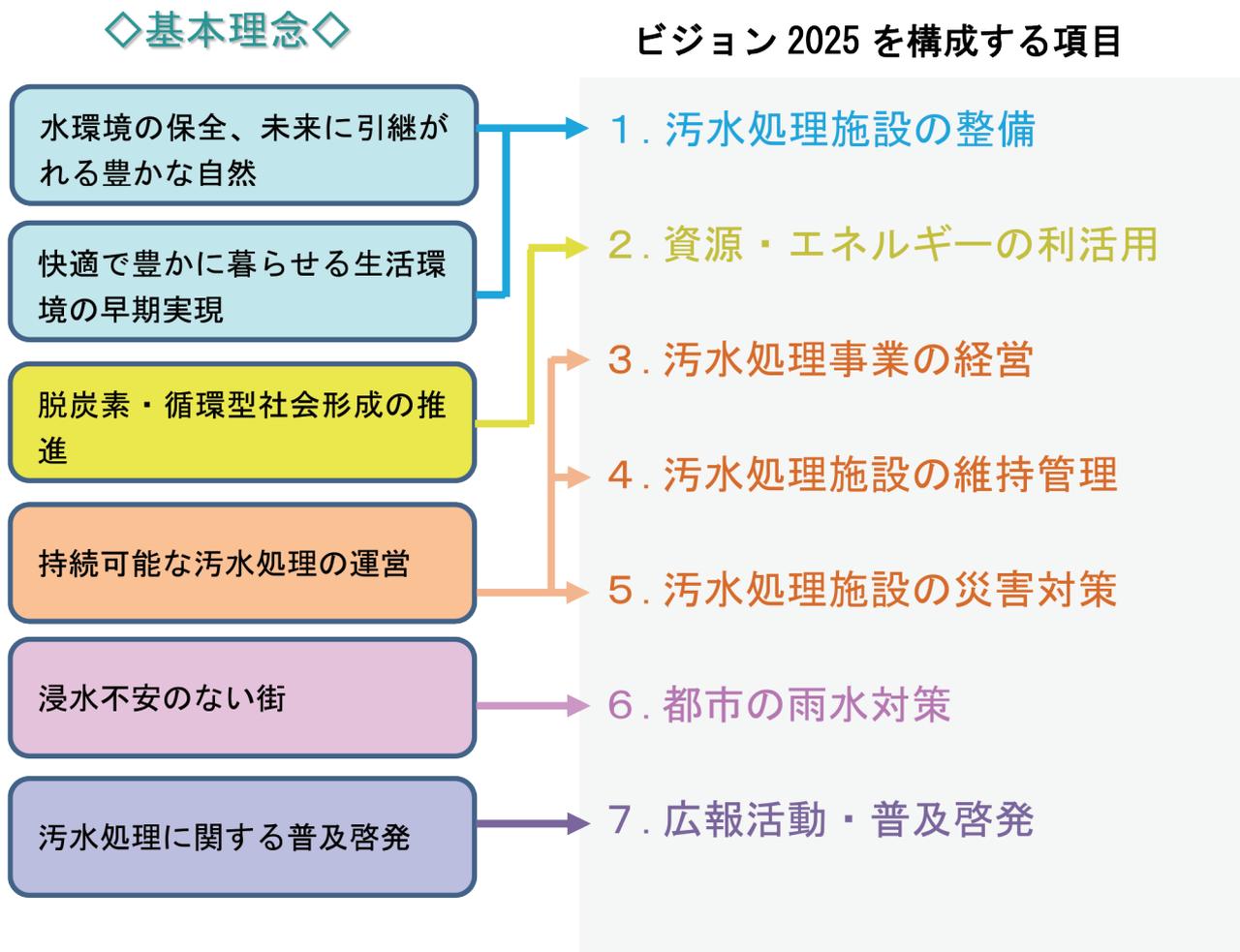


図 2-1 県構想の全体構成